

平成30年度第1回赤磐市地域医療ミーティング推進協議会 概要

日 時 平成30年7月20日（金） 午後1時30分から午後3時まで

場 所 山陽保健センター

出席委員 18名 事務局 市長、部長以下8名

協議の概要は以下のとおり。

(1) 実績及び計画の説明

(事務局) 平成29年度の活動実績及び平成30年度の事業計画の説明。

(2) 地域の医療従事者との交流会について

(事務局) 平成29年度に吉井地域、赤坂地域で実施した「地域の医療従事者との交流会」の様子を紹介し、今年度実施予定の山陽地域及び熊山地域での実施方法について委員より意見を求める。

(委員) 昨年度の交流会に参加した感想は、初めは参加者が緊張気味で静かな雰囲気であったが、各グループで段々と話が盛り上がっていった。

(委員) 赤坂地域の交流会は、会場が狭かったのでグループワークをしやすい広さの会場に考慮してほしい。

(委員) 昨年度の交流会で情報提供をしたが、事前に打合せや準備の時間があればよかった。

(委員) 社会福祉協議会でも同じような会議がある。それぞれの目的を明確にし、役割分担が必要ではないか。

(委員) 主催する団体ごとに目的は違っているが、参加者が同じになると同じ会議に思えるだろう。団体同士で協議し、合同開催という方法もあるのではないか。

(委員) 地域医療をどうしていきたいか、という目的を明確にする必要がある。どこの会議でも介護に着目しがちである。これからの時代を担う子どもたちにもっと目を向けたほうがよい（人口増加の施策等）のではないか。

また、働き盛りの人、主婦、子育て中の人、30代～40代の人意見もある方がよいので、参加できる方法を検討してはどうか。

(市長) 経済情報誌の調べで、赤磐市は住みよい市として岡山県で上位である。これは市民の満足度ともいえる。住みよい市とは医療、福祉、子育ての充実が欠かせない。今後も市民との会話の機会を重ねていくことが必要である。

(委員) 熊山地域の場合は、医療機関が少ないので交流会のイメージがしやすい。しかし、山陽地域は医療機関が多いので、計画をしっかりと立てたほうがよい。例えばテーマを決め、専門診療科ごとに分けて開催する。赤磐医師会病院はサポート役として出席する。

(事務局) 委員からの意見を参考に計画し、ワーキンググループで協議する。